



森まゆみ



龍村 仁

■第二部…ともいき談義

「地球の学び・町の教え」

龍村 仁 (映画監督)

森まゆみ (編集者・作家)

小泉顕雄 (浄土宗僧侶)

高田公理 (佛教学大学教授) ※コーディネーター

法然共生フォーラム

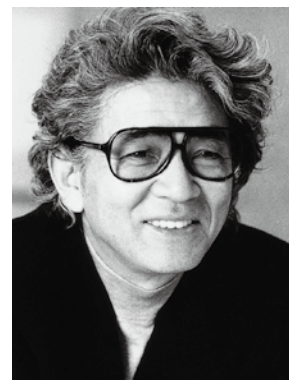
ともいき

いのちを慈しむ知恵

in 仙台

書・紫舟

世界に満ちる様々ないのち
モノやコトにも宿るいのち
あの世とこの世を結ぶいのち
太古から未来へ継がれるいのち
そんないのちと共にあること
共にある私を確かめること
それが「ともいき」です



■第一部…ともいきがたり (講演)
「法然上人に学ぶ」

五木寛之 (作家)

ブツダと弟子たち 法然上人と親鸞聖人
面授によって手渡された共生の教え
学ぶとは何か 伝えるとは何か
変化の時代を生きるヒントを語って戴きます

今回のテーマ:

ともいき 学びの共生

—いのちへの気づき

私たちは 学ぶことで成長し
気づきによって 進化を試みます
変化の時代に求められる
共生への教え・学びを考えます

参加無料

※参加応募方法を裏面に記載しています

日時：平成22年 7月20日(火) 18時30分より
(18時開場/21時30分終了)

会場：電力ホール (仙台市青葉区一番町)

主催：浄土宗 共催：河北新報社 後援：京都新聞社 特別協力：法然上人をたたえる会
協力：総本山知恩院 (京都) 大本山増上寺 (東京) 大本山金戒光明寺 (京都) 大本山知恩寺 (京都)
大本山清浄華院 (京都) 大本山善導寺 (久留米) 大本山光明寺 (鎌倉) 大本山善光寺大本願 (長野)

とも いき
法然共生フォーラム
～いのちを慈しむ知恵～

こころは乾き、いのちは痩せ細り、社会は、ゆくえの見えない閉塞に覆われています。

いまこそ豊かな想像力を取戻し、あらゆるものに等しく息づく“いのち”を想い、慈しみたい。

世界に満ちる多様な“いのち”、過去から未来へ連なる遙かな“いのち”と共にある・・・それが“ともいき”です。

このフォーラムは、法然上人の教えに流れる“ともいき”精神について考える、

対話と交流の場です。浄土宗が全国各地で開催しています。



五木寛之

(作家)

いつき ひろゆき

1932年、福岡県生まれ。早稲田大学文学部ロシア文学科中退。'66年、『さらばモスクワ愚連隊』で小説現代新人賞、『蒼ざめた馬を見よ』で第56回直木賞、『青春の門』で吉川英治文学賞、'02年度第50回菊池寛賞を受賞。代表作に『風に吹かれて』『朱鷺の墓』『戒厳令の夜』『蓮如』『大河の一滴』『TARIKI』『21世紀仏教への旅』。最近作に『親鸞』(上下巻)がある。



龍村 仁

(映画監督)

たつむら じん

1940年、宝塚市生まれ。京都大学文学部美学科卒業後、NHKに入局。'74年同局を退社。地球をひとつの生命体として捉える“ガイア”というコンセプトを軸に、ドキュメンタリー映画『地球交響曲(ガイア・シンフォニー)第一番』を'92年に公開。以降『第六番』まで、のべ230万人にのぼる観客を動員。本年7月、“ガイアの自発的治癒力”をテーマとする最新作『第七番』を公開予定。



森まゆみ

(編集者・作家)

もり まゆみ

1954年、東京生まれ。早稲田大学政経学部卒。'84年、地域雑誌の草分け「谷中・根津・千駄木(愛称・谷根千)」を創刊。丹念な聞き書きで下町の生活・文化・歴史を紹介し、'09年に第94号をもって終刊となった。著書に『隅外の坂』『一葉の四季』『東京遺産』『彰義隊遺聞』『女三人のシベリア鉄道』『海に沿って歩く』ほか。'08年より宮城県丸森町にも拠点を作り「半農半筆」生活を送る。



小泉顕雄

(浄土宗僧侶)

こいずみ あきお

1951年、京都府生まれ。広島大学大学院修了。浄土宗京都教区教伝寺住職。京都成章高校講師、学校法人華頂学園常務理事、事務局長などを歴任。'01年、参議院議員に当選して1期務め、文部科学大臣政務官などに就任。著書に『教えろ伝えろ』『もっと教えろもっと伝えろ』『燧谷だより』。



高田公理

(佛教学教授)

たかだ まさとし

1944年、京都市生まれ。京都大学理学部卒業後、シンクタンク主任研究員、武庫川女子大学教授を経て'08年より現職。学術博士。専門は社会学・文明学・観光学。著書に『にっぽんの知恵』『酒場の社会学』『自動車と人間の百年史』『“流行”の社会学』、編著に『嗜好品の文化人類学』など。

■「学びの共生——いのちへの気づき」について

人類の知の総量は膨大だ。ただ、それと過去に宇宙で起こり、未来に起こる事象の一部を捉えうるのみ。どんな物知りでも、知らないことのほうが多い。

だから人は、さまざまなことを学ぼうとするのだろう。共同体に支えられ、同時に支える役割を果たすには、それが不可欠だからだ。

そんな学びを、今日では多様なメディアの伝える情報が助けてくれる。その一部は、確かに脳に記憶されて、人の知の一部になる。

しかし、脳は身体の臓器の一つに過ぎない。丸ごとの身体を持つ人々の「ともいき」には、じかに出会い、言葉だけでは伝えがたい表情や身振り手振り、声の調子などを授受することが求められる。

法然上人が念仏に託した「万人平等救済・共生・非暴力」への思いも、それを伝える「面授」を通して現代に伝わった。そんな現代から未来に生きる私たちも、身近な人々と彼らが住む近隣の町々、それを包み支える母なる地球から、じかに学びたいのだ。

高田公理(コーディネーター)

日 時：平成22年7月20日(火)
18時30分～21時30分
会 場：電力ホール

次 第

18:30～ 開会挨拶

■第1部：ともいきがたり

五木寛之

19:40～ <休憩>

19:55～ 浄土宗の活動紹介

■第2部：ともいき談義

龍村 仁・森まゆみ

小泉顕雄・高田公理

参加応募方法

参加は無料です。抽選で800名様に参加券を発送します。参加ご希望の方は、はがきに郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し下記までお送り下さい。はがき1枚で2名様まで申込可能(お名前2名分を記入)。FAXやEメールによる応募も可能です。申込みは**6月28日(月)消印・着信有効**。発表は参加券発送にて替えさせて戴きます。

〒604-8161 京都市中京区饅頭屋町595-3 法然共生フォーラム事務局「仙台」係 ※「仙台」係と必ず明記願います

Eメールアドレス:tomoiki@convention.jp TEL:075-256-8672 FAX:075-256-8673

※参加ご応募に必要な個人情報第三者に対して開示・提供することは一切ありません。